

技術講習会 鉄鋼の成分分析 ～事例と測定データの活用～

地方独立行政法人大阪産業技術研究所和泉センターでは、所有している試験研究機器等を用いて、企業の皆様の新技術・新製品の開発や品質管理のお手伝いをさせていただいております。

鉄鋼の成分分析の目的や分析結果の活用法についてご理解いただくため、代表的な機器の実演を交えた講習会を下記の要領で開催いたしますので、ご案内申し上げます。

◆日 時：平成30年12月11日(火) 13:20～16:40

(バスでお越しの場合、12:54に和泉中央駅を出発するバスで間に合います。)

◆場 所：(地独)大阪産業技術研究所 和泉センター (和泉市あゆみ野2-7-1)

当日は、講習開始時刻までに当研究所の玄関ホール 講習会受付にて、受付をお済ませください。担当者が講習会場にご案内します。(受付は講習会開始時間の10分前より始めます。)

◆定 員：8名まで。参加人数は1社1名まで

※ 受講票は発行いたしません。返信で受付をお知らせします。

◆費 用：無料

◆申込み先：(地独)大阪産業技術研究所 和泉センター 顧客サービス部

※ お申込みは、メール (fukyu@tri-osaka.jp) またはFAX (0725-51-2520) でお願います。

◆内容

・講義「鉄鋼の成分分析 ～事例と測定データの活用～」

「新規顧客に鋼材を納品するにあたって、第三者機関による成分分析データの添付を求められた。」

「ある鉄鋼部品が想定よりも早期に破損した。異材を疑っているので、成分を分析してほしい。」

当研究所には多くのお客様から鉄鋼の成分分析をご依頼いただきますが、お客様の目的や試料形状によって分析手法や分析項目は異なります。また、場合によっては硬さ試験など成分分析以外の試験をご提案することもあります。鉄鋼の成分分析でわかることわからないこと、分析データの正しい活用法などについてさまざまな事例を交えて解説します。

・実演 「蛍光X線分析装置」「スパーク放電発光分光分析装置」 「炭素窒素分析装置」「ICP発光分光分析装置」

各分析装置にはそれぞれ長所と短所があり、分析の目的や試料形状に応じてこれらを使い分ける必要があります。

当研究所ではお客様とのディスカッションを通じて最適な分析手法を提案しております。鉄鋼の成分分析に用いる装置の中から4種類を取り上げ、簡単な実演を行います。

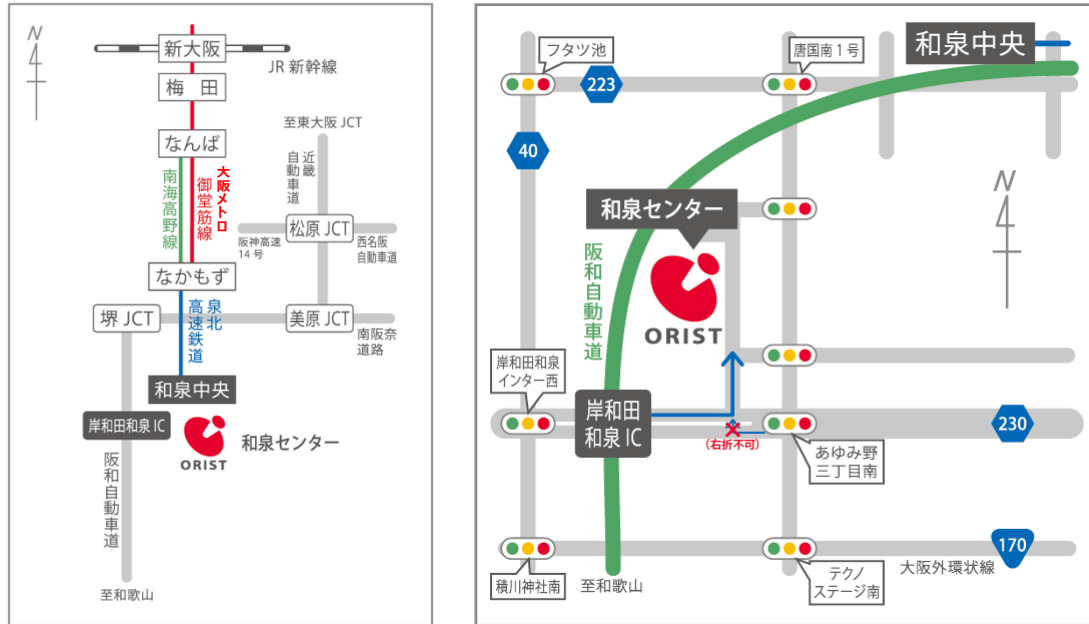


◆持ち込み試料について：本講習会では、受講者による持ち込み試料の対応はいたしません。

◆講習担当：(地独)大阪産業技術研究所 和泉センター 金属表面処理研究部 榮川元雄

・お問い合わせ先：顧客サービス部 TEL：0725-51-2518

大阪産業技術研究所 和泉センター 交通案内図（略図）



和泉中央駅バス乗り場5番から
研究所方面へのバスが出ております
和泉中央駅発バス時刻
9時：7, 27分
10時：3, 34, 57分
11時：21, 54分
12時～15時：毎24, 54分

駐車場は、入口から入って左手に
あります。ご利用下さい。

「大阪技術研前」で下車して下さい

FAX 0725-51-2520

技術講習会 申込書 テーマ「鉄鋼の成分分析 ～事例と測定データの活用～」

開催日：H30.12.11（火）

会社名	
所在地	(〒 -)
参加者	所属： 役職： 氏名： (K) 利用者カードをお持ちの方は、「K番号」のご記入もお願いします。
連絡先	TEL： FAX：
講習会の情報源	①Web ページ ②メール配信 ③チラシ ④他機関の情報 ⑤その他 ()

※上記参加申込書に記載された内容につきましては、本講習会の参加者の集計及び下記の目的に使用させていただきます。

- ①お客様からの問い合わせへの対応、当研究所利用に関する手続きの案内など、お客様サポート。
- ②当研究所および関連団体の催事情報提供などの案内。

※ 講習会の申込状況の確認はこちら →<http://orist.jp/izumi/events/seminar/>

※ 講習会の案内など、当研究所の関連情報をお知らせする「ORIST EXPRESS 和泉センター版」の配信を新規にご希望の方はこちら →http://orist.jp/mail_magazine/magazine_izumi.html